



京都国立近代美術館

友の会ニュース

2008 SEPTEMBER NO. 3

待望の大型企画「生活と芸術—アーツ&クラフツ展」がはじまりました。

猛暑が続いた今夏ですが、ようやく「芸術の秋」本番となり、来年にかけて趣向をこらした展覧会が続いてゆきます。まず、その第一陣は、すでに共催の朝日新聞紙面にも、連日紹介されている大型企画「アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで」です。

「アーツ&クラフツ」は、19世紀後半にイギリスで興ったデザイン運動で、もともと広範にその影響力が浸透し、ヨーロッパはいうまでもなく、日本でも「民芸運動」として花開きました。今回の展覧会は、イギリスのヴィクトリア&アルバート美術館の全面的な協力のもと、本展に先立って、2005年に同館で開かれた「インターナショナル・アーツ&クラフツ展」のいわば日本巡回展とあって過言ではありません。そして、このイギリス展でも再現展示された、日本初の「民芸館・三国荘」が、当館会場でも、より精巧にして完成度の高い姿で再制作され、大きな見どころのひとつとなっています。

そこで、「友の会」会員の皆様のために、閉館後、特別にこの「三国荘」に上がっていただき、まず体験し得ないその臨場感を味わいながら、展覧会についてより深く知っていたらこうと、本展担当者・松原龍一主任研究員による「解説会」を開きます。

- ・日時：10月24日（金）午後4時30分から6時まで
- ・場所：京都国立近代美術館3階・展示室
- ・定員：20名（要申込・先着順）
- ・参加費：無料（友の会会員と同伴者1名様まで）
- ・申込〆切：10月17日（金）まで
- ・申込先：京都国立近代美術館 庶務課庶務係
Tel. 075-761-4111（代表）
（平日午前9時30分から午後5時まで）

※午後4時20分に1階・インフォメーションに
集合してください。



撮影：四方邦熙

「三国荘」については、本展図録でも、再現展示を監修された建築史家の川島智生氏による詳細な論考を収録しています。「工芸は常に家屋と結合されなければならない」「元来建築は総合的工芸でなければならない」とした、柳宗悦の言葉が見事に実現されたこの「最初の民芸館」には、まさに本展の中心テーマである「生活と芸術」の具体的な実践例が示され興味はつきません。ぜひ、この「解説会」でその理念を「体験」して下さい。



◎京都市立芸術大学との共催による恒例の「オータムナイトコンサート」

今回は、「アーツ&クラフツ展」と関連したコンサートで、『美術館で聴く木管楽器の響き』と『モリスから影響を受けたホルストの音楽』の二部構成です。

グスターヴ・ホルストは、イギリスを代表する作曲家で、管弦楽のための組曲「惑星」は、皆さんもよくご存じだと思います。そのホルストは、ウィリアム・モリスと親交があり、このモリスの思い出をテーマとした曲も書いていたのです。音楽と美術とは、互いに影響関係が大きく、「惑星」の曲にもどこか視覚的なイメージが表現されているようで、今回のコンサートでは、「惑星」だけではない知られざるホルストの一面を知ることができる、またとない機会になるでしょう。

- ・演奏：京都市立芸術大学音楽学部・大学院 管打楽専攻生
- ・日時：10月11日（土）午後6時開演（午後5時頃より、エントランス付近にてプレコンサート開催予定）
- ・場所：京都国立近代美術館 1階ホワイエ
- ・参加費：無料「友の会」会員には、前列席の予約を受付けます。（20席限定・申込順／同伴者1名まで）
- ・参加希望の方は、前日までに、「解説会」と同じく庶務係までお申し込み下さい。

◎活動の報告とこれからの「友の会」活動

・「没後10年 下村良之介展」会期中の8月22日（金）午後5時から、「友の会」会員の方々への恒例の「解説会」を開催いたしました。今回は講堂にお集まりいただき、担当者がこれまで展覧会準備のために用意した資料を紹介するとともに、ご遺族からお預かりした下村良之介のスケッチ・ブックやアルバムなど、貴重な品々を身近に、なごやかな雰囲気の中で、下村良之介について話し合うことができました。



・これまでも、この「友の会ニュース」紙上でお知らせして参りました、会員の方々とともに「展覧会」をつくりあげていこうという新企画。京都新聞の創刊130年の記念企画「京都学 前衛都市・モダニズムの京都」展として、来年の5月26日から7月5日の会期で開催いたします。この展覧会は岡崎の地で明治28年に開かれた第4回内国勸業博覧会を起点に、絵画・工芸・建築など「京都モダニズム」を紹介するもので、展覧会ゆかりの地をめぐるながら、「友の会」の方々にも親しみをもってください、展覧会開催の気運を盛り上げていこうという趣向です。

その第1回「京都モダニズム」見学会を11月8日（土）に実施いたします。まずは岡崎界隈をより深く知っていただくため、午後1時30分当館1階ロビー受付にお集まり下さい。岡崎公園を隅々まで、約4時間の小ツアーです（雨天決行・参加費無料）。参加をご希望の方は、10月31日（金）まで、「解説会」と同じく下記までご連絡下さい。

京都国立近代美術館 庶務課庶務係 Tel. 075-761-4111(代表)